

関 まつり 紀行

関に伝わる「まつり」を紹介します

其の十九

茅の輪くぐり

毎年6月30日、貴船町の貴船神社で半年間の無事を感じ、罪やけがれをはらって残り半年間の無病息災を祈願する「茅の輪くぐり」の神事が行われます。



1年の半分が終わる6月30日、貴船町にある貴船神社本殿の前に直径約3メートルの巨大な輪が現れ、「茅の輪くぐり」の神事が行われます。この巨大な輪はススキなどでできており、前日までに氏子総代ら十数人によって作られます。

当日は午後3時から大祓の神事おほはらいが本殿にて行われ、午後5時から茅の輪くぐりが始まります。

参拝に来る地元住民や家族連れは、

まず輪の前でおはらいを受け、そして8の字を描くように輪をくぐります。始めに輪をくぐって左へ回り、再び輪をくぐって今度は右へ回り、さらに輪をくぐってまた左へ回り、最後にもう一度輪をくぐって本殿に向かい参拝します。

参拝が終わって帰る時に、氏子らが手作り



した厄よけの小さな茅の輪が家族ごとに配られます。この茅の輪を家の戸口に飾ると、無病息災、家運隆昌のご利益があるといわれています。

茅の輪くぐりは午後9時まで行われ、多くの人が参拝に訪れます。遠くは各務原市からも参拝に来るそうです。